

平成25年度北海道肝炎対策協議会次第

〔日時：平成26年3月31日(月)18:30～19:30〕
〔場所：北海道庁本庁舎2階共用会議室〕

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 会長の選任について

(2) 北海道における肝炎対策について

①北海道における肝炎対策について 資料 1-1

②ウイルス性肝炎進行防止対策医療給付事業について 資料 1-2

(3) 肝疾患に関する専門医療機関の指定意向調査結果の概要について 資料 2

(4) その他

4 そ の 他

5 閉 会

平成25年度北海道肝炎対策協議会出席者名簿

1 北海道肝炎対策協議会委員

所 属	職 名	氏 名	備 考
社団法人 北海道医師会	副会長	小熊 豊	
旭川医科大学医学部内科学講座	教 授	高後 裕	
北海道大学大学院医学研究科	教 授	坂本 直哉	
札幌医科大学医学部内科学第一講座	講 師	佐々木 茂	
北海道肝炎友の会	会 長	渡辺 寿夫	
札幌市保健福祉局保健所	医療担当部長	田森 啓介	矢野所長代理
北海道十勝総合振興局（帯広保健所）	技 監	相田 一郎	欠席

2 オブザーバー（委員事務局）

所 属	職 名	氏 名	備 考
旭川医科大学医学部	特任教授	大竹 孝明	

3 事務局

所 属	職 名	氏 名	備 考
北海道保健福祉部健康安全局地域保健課	課 長	江上 洋行	
” ”	主 幹	青山 雅人	
” ”	主 幹	丸子 利彦	
” ”	主 査	桂川 聖	
” ”	主 査	今澤 輝孝	
” ”	主 任	上西 研二	

北海道の肝炎対策について

○施策の方向性

肝疾患診療体制の整備や患者支援を通じて医療の充実に努めるとともに、早期発見・早期治療のための検査体制の充実、さらには肝炎に関する知識の普及啓発を通じ、肝疾患対策の推進を図る。

(根拠法令等：「肝炎対策基本法」「肝炎対策の推進に関する基本的指針」「肝炎患者等支援対策事業実施要綱」等)

○主な施策

ア体制の整備

項目	内 容	H25の状況	H26の方向性
1 基本的方針等に関する協議の場	(1) 北海道肝炎対策協議会の開催 学識経験者、患者団体、関係行政機関などの専門家により道内の実情に応じた総合的な肝炎対策を検討するため、平成20年3月に設置。	○平成25年3月31日(月)札幌市内 - 本道における肝炎対策、肝疾患専門医療機関の指定などについて審議	○引き続き実施
2 医療提供体制の整備	(1) 肝疾患診療連携拠点病院及び肝疾患専門医療機関の指定 本道における肝疾患診療ネットワークの中心的役割を果たす肝疾患診療連携拠点病院(3施設)を平成21年8月に指定するとともに、平成22年1月には専門的な肝炎治療を行う肝疾患専門医療機関を指定(現在144施設)	○専門医療機関について、新たに意向調査のとりまとめ結果に基づき、北海道肝炎対策協議会で審議のうえ、指定	○引き続き意向調査のうえ、専門医の異動等による指定要件の得失を確認し新規指定等を行う
	(2) 北海道肝疾患診療連携拠点病院等連絡会の開催 本道の肝疾患診療の向上と均てん化を図るため、関連情報の収集と提供、医療従事者等の研修、医療機関の連携の促進などを目的とする連絡会を設置。 (別紙1)	○平成26年1月19日(日)札幌市内 内容：ウイルス性肝炎進行防止対策医療給付事業の改正	○第1回(地域開催)医療技術者研修会を同時開催予定(近隣のかかりつけ医も対象) ○第2回(札幌開催)札幌市内予定 専門医療機関研修を同時開催予定 ※第1回(地域開催)は事案の有無により開催検討

項 目	内 容	H 2 5 の状況	H 2 6 の方向性
3 各種研修 の実施	<p>(1) 肝疾患専門医療従事者研修の実施 肝疾患に関わる医療機関の連携の促進と医療の均てん化を図るため、肝疾患専門医療機関の医療従事者を対象に平成 21 年度より研修を実施</p>	<p>○平成 26 年 1 月 19 日 (日) 札幌市内 北海道肝疾患診療連携拠点病院等連絡会に引き続き開催 内容：「ネットワークによる北海道肝疾患診療現状調査報告」「C 型慢性肝炎抗ウイルス治療の将来展望」</p>	<p>○連絡会に引き続き拠点病院と共催で開催</p>
	<p>(2) 一般医療機関の医療従事者研修の実施 これまでの専門医療従事者研修に加え、地域におけるきめ細やかな肝疾患対策を推進するため、日常の診断治療を担う地域医療機関の医療従事者を対象とした研修を地域ごとに実施</p>	<p>○平成 25 年 10 月 17 日 (日) 釧路市内 内容：行政説明後、①新時代の C 型慢性肝炎治療 ②B 型肝炎治療がトライイン及び B 型肝炎訴訟、③肝疾患相談センターの活動内容と今後の取り組みについて拠点病院が講演</p>	<p>○連絡会に引き続き拠点病院と共催で開催 ※連絡会は事案の有無に応じ開催</p>
	<p>(3) 市町村、企業等の担当者研修の実施 市町村及び地域の企業等の健康管理者等が肝炎治療の基本情報や治療のための各種支援制度などの知識を習得するための研修会の開催</p>	<p>○平成 26 年 2 月 7 日 小樽市内 内容： ・北海道の肝炎対策の概要説明 ・肝炎ウイルス検査の必要性和保健所における検査について ・講演「ウイルス性肝炎の基礎知識、最新情報」 (拠点病院講演) (別紙 2)</p>	<p>○今年度の開催結果を踏まえ時期・方法等について検討</p>

イ患者・住民サービス

項目	内 容	H 2 5 の状況	H 2 6 の方向性
1 肝炎ウィルス検査	(1)肝炎ウィルス検査の実施(来所) 早期発見・早期治療のため従来より道立保健所においてB型及びC型肝炎ウィルス検査を実施してきたており、道立保健所においては平成19年8月より無料検査を開始。	○道立保健所における検査件数：H25年333件(前年322件) ○市町村が実施するウィルス検査への財政支援：H24年度26,169件(前年度25,698件) 政令市除く	○より多くの方が受検するよう住民周知に努める。
2 相談体制	(1)肝疾患相談センターの設置 患者、感染者、家族等からの医療相談に対応するため、平成22年度より肝疾患診療連携拠点病院に肝疾患相談センターを設置。	○3つの拠点病院の各相談室において平日9時ないし10時から17時まで随時相談受付(疾病の概要、検査・治療方法、受療案内・医療機関紹介、公的助成手続き等)	○引き続き実施
3 医療費助成	(1)医療費等の助成 平成17年度よりウィルス性肝炎進行防止対策として、B型・C型肝炎で抗ウィルス療法などの治療を行っている方などに対し、医療費の助成を実施。	○ウィルス性肝炎進行防止対策事業 受給者数10,274人(H26.2月現在) (平成24年度10,509人)	○引き続き実施
4 普及啓発	(1)リーフレット等の作成・配布 平成19年度より肝炎ウィルスの正しい知識の普及啓発及び肝炎ウィルス検査の受検勧奨のためリーフレットを作成・配布。	○研修会等において配布するなど普及啓発活動に活用	○引き続き実施
5 肝炎手帳	(1)肝炎患者支援手帳の作成 肝炎患者及び治療が必要となった方等に対して、肝炎の病態・治療方法・肝炎治療に関する制度等の情報を提供するとともに、関係する医療機関の連携等に資するため、「肝炎患者支援手帳」を作成。	○適宜患者・患者団体・医療機関に配布	○必要に応じ配布継続

北海道肝疾患診療連携拠点病院等連絡会設置要綱

(目的)

第1 本道における肝疾患診療の向上と均てん化を図るため、関係医療機関による「北海道肝疾患診療連携拠点病院等連絡会（以下「連絡会」という。）」を設置し、肝疾患対策に関する情報の共有や研修の実施を通じて診療の向上に寄与するとともに、地域の医療機関の連携強化により診療体制の充実を図ることを目的とする。

(所掌事項)

第2 連絡会の所掌事項は次のとおりとする。

- (1) 肝疾患対策に関する情報の収集と提供
- (2) 地域の医療従事者に対する研修の実施
- (3) 地域における医療機関の連携の促進
- (4) その他肝疾患医療体制の向上に関すること

(構成)

第3 連絡会は、次の各号に掲げる機関で構成する。

- (1) 肝疾患診療連携拠点病院
- (2) 肝疾患専門医療機関
- (3) 北海道

(会長)

第4 連絡会に会長をおき、肝疾患診療連携拠点病院と協議の上、北海道が指名する者をもってあてる。

- 2 会長は、会務を総理し、連絡会を代表する。

(事務)

第5 連絡会の開催に係る事務は、北海道保健福祉部健康安全局地域保健課が関係する肝疾患診療連携拠点病院の協力を得て行う。

附則

この要綱は、平成23年7月20日から施行する。

肝炎に関する健康管理実務者研修会 開催要領

ウイルス性肝炎は肝炎ウイルスに感染して起こる肝臓の病気です。中でもB型、C型肝炎ウイルスに感染すると慢性の肝臓病（慢性肝炎、肝硬変、肝ガン）に至ることもあります。特にB型、C型肝炎の患者・感染者は約300万人を越えると推計され、国内最大級の感染症とされています。しかし、治療を受けている方は少なく、感染に気付いていない方が相当数いるとされています。

感染しているかどうかを知るためには、肝炎ウイルス検査を受ける必要があります。

この度、より多くの方にウイルス性肝炎の病態や検査方法等をご理解いただきたく、事業所の健康管理を担う方を対象に研修会を開催することとしました。

この機会をとおり、社員の皆さまへ検査の意義をお知らせいた
 だくとともに、ご自分が感染しているか否かご存知無い方、
 健康診断で肝機能異常を指摘された方には、早めに検査を受診
 するよう呼びかけをお願いいたします。



【主催】北海道保健福祉部、北海道俱知安保健所、北海道岩内保健所、小樽市保健所、札幌医科大学付属病院

【対象】後志総合振興局内の市町村、関係機関の健康管理担当者

【日時・場所】

平成26年2月7日（金）13:30～15:30

小樽経済センター 4階ホール（小樽市稲穂2丁目22番1号）

※近隣の有料駐車場をご利用願います

【内容】

- (1) 開会
- (2) 報告「北海道の肝疾患対策の概要等」
報告者 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
- (3) 報告「肝炎ウイルス検査の必要性と保健所における検査」
報告者 俱知安保健所 健康推進課保健予防係 伊東弘恵
- (4) 講演「(仮)肝炎に関する医療講演～ウイルス性肝炎の基礎知識、最新情報～」
講師 札幌医科大学付属病院 第一内科 講師 佐々木茂氏

【講師紹介】

専門分野：肝臓病学・消化器病学

学会認定：日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本肝臓学会肝臓専門医・指導医、日本内科学会内科認定医、
 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本がん治療認定医療機構がん治療認定医・暫定指導医、日
 本病態栄養学会NSTコーディネーター

(5) 質疑応答

【受講料】無料

別添「出席報告」にて、ファックスか郵送で平成26年1月31日までに下記へ申込みください。

俱知安保健所健康推進課保健予防係 竹田・伊東

〒044-0001 虻田郡俱知安町北1条東2丁目

電話 (0136) 23-1951

FAX (0136) 22-5875

肝炎ウイルス検査実施状況（道立保健所）

（単位：件）

年	HBs	HBs 陽性	HCv	HCv 陽性	HBs & HCv	HBs 陽性	HCv 陽性	実施計	HBs 陽性	HCv 陽性	計 陽性
25	3	0	3	0	327	4	5	333	4	5	9
24	6	0	0	0	316	3	2	322	3	2	5
23	7	0	3	0	377	9	4	387	9	4	13
22	1	0	1	0	317	8	3	319	8	3	11
21	2	0	7	0	594	7	1	603	7	1	8
20	16	1	362	11	6,518	95	100	6,896	96	111	207

ウイルス性肝炎進行防止対策医療給付事業

医療受給者証交付数 (単位：人)

区分	24年度末	26年2月末現在	差引	備考
総数	10,509	10,274	△ 235	
肝炎治療特別促進事業	5,934	6,248	314	
I 慢性肝炎 (B型)	37	50	13	
F 慢性肝炎 (C型)	386	265	△ 121	
N 治療 代償性肝硬変 (C型)	31	14	△ 17	
核酸アナログ製剤治療 (B型)	5,480	5,919	439	
道単独事業	4,575	4,026	△ 549	